

## 国土地理院入札監視委員会 定例会議議事概要

開催日及び場所	九段第二合同庁舎(東京都千代田区) 令和3年7月26日(月) 国土地理院関東地方測量部会議室		
委員名簿	委員長 佐々木 直彦 (公認会計士) 委員 小口 高 (東京大学 空間情報科学研究センター 教授) 委員 新谷 昌人 (東京大学 地震研究所 附属観測開発基盤センター 教授) 委員 谷本 誠司 (弁護士)		
審議対象期間	令和2年7月1日～令和3年3月31日		
抽出事案	8件	(備考)	
測量業務	4件	審議案件は別紙1のとおり	
内訳	簡易公募型 競争入札方式 簡易公募型 競争入札方式 (総合評価落札方式) 簡易公募型 プロポーザル方式		1件 2件 1件
物品・役務	4件		
内訳	一般競争入札方式 企画競争入札方式 随意契約方式		2件 1件 1件
委員からの主な意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問 別紙2のとおり		回答 別紙2のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

## 審議案件詳細

## 【測量業務】

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率
①	簡易公募型競争入札方式	成果不整合地域における基準点改測(鹿児島県鹿屋地区)	基準点測量	4	4	令和2年12月7日	株式会社久永コンサルタント	1,287	41.3%
②	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	電子国土基本図(基盤地図情報)面的更新業務(R2中部四国地区)	地図調製	8	8	令和2年11月9日	株式会社タナカコンサルタント	45,100	98.3%
③	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	UAV写真測量作業の効率化及び精度向上に関する調査検討業務	調査研究	2	2	令和2年10月1日	アジア航測株式会社	8,030	51.7%

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率
④	簡易公募型プロポーザル方式	CLASを活用した測量マニュアル素案の作成に向けた精度検証業務	調査研究	1	1	令和2年11月12日	株式会社パスコ	5,995	100.0%

## 【役務の提供等及び物品の製造等】

	入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率
⑤	一般競争入札方式	電子基準点網等の耐災害性強化(データ収集対策)	役務の提供等	1	1	令和2年7月9日	日立造船株式会社	72,600	98.6%
⑥	一般競争入札方式	令和2年度地点別浸水シミュレーション検索システムの機器調達	物品の製造等	1	1	令和2年10月9日	三菱スペース・ソフトウェア株式会社	59,950	99.9%

	入札方式	業務名	業務分類	企画提案書の提出者数	企画競争参加資格を満たす企画提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率
⑦	企画競争方式	統合災害情報システムのメインサーバのリース・システム運用保守業務	役務の提供等	1	1	令和2年9月14日	エス・アンド・アイ株式会社	92,699	99.8%

	入札方式	業務名	業務分類	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率
⑧	随意契約方式	GNSSアンテナの位相特性に起因する測位精度低下を回避する技術の試行業務	役務の提供等	令和2年10月6日	株式会社パスコ	12,992	100.0%

意見・質問	回答
<p><b>1. 定例報告</b></p> <p>(1) 入札方式別発注案件一覧表 (測量業務、役務の提供等及び物品の製造等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> <p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>納品が出来ず指名停止となっているが、新型コロナウイルスの影響はあるのか。</li> </ul> <p>(3) 談合情報等への対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響によるものではない。</li> </ul>
<p><b>2. 抽出事案の審議</b></p> <p>&lt;測量業務&gt;</p> <p>簡易公募型競争入札方式</p> <p>① 成果不整合地域における基準点改測(鹿児島県鹿屋地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落札率が低い、予定価格の設定はどのように行われたのか。</li> <li>各者の入札金額に大幅な差があるが、このような事例はよくあることか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土地理院の積算基準に基づいて行っている。</li> <li>過去にもまれに同様の事例があることは、認識している。</li> </ul>
<p>簡易公募型競争入札方式(総合評価落札方式)</p> <p>② 電子国土基本図(基盤地図情報)面的更新業務(R2中部四国地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価落札方式では、技術点が大きなウェイトを占めており、価格点があまり効いていないように思われる。技術点と価格点の差、バランスは妥当と言えるのか。</li> <li>総合評価落札方式の技術点と価格点のバランスについては、全体的な状況を確認して、今後の総合評価落札方式に反映するよう検討されたい。(意見)</li> <li>面的更新業務は、一括で複数地区が出されているが、一つの業者がいくつもの地区を請け負</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省のガイドラインで統一的に定められており、妥当なバランスと考えている。</li> <li>毎年度、技術点、価格点及び成績評定点についての関係を確認しており、今後も検証していく。</li> <li>面的更新業務は、複数の案件を一括して発注する一括審査方式で発注を行っている。</li> </ul>

<p>うことは物理的に可能か。</p>	<p>一括審査方式では、各者から同一の技術提案書の一つ提出することで、複数の案件に参加表明したことになる。このため、落札した者は、技術者が配置できなくなるため、他の案件は受注できない。</p>
<p><b>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</b>  <b>③ UAV写真測量作業の効率化及び精度向上に関する調査検討業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初要件では、使用する機器は1機以上となっているが、何機あれば本業務は実施可能か。</li> <li>・ 高性能なUAVを使用したとしても当初の見積額と入札価格の乖離が大きいのはなぜか。</li> <li>・ UAVは、レンタル、リース又は所有でも良いということだが、購入した場合は積算計上できないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1機あれば実施可能である。</li> <li>・ 価格差は、UAVの購入だけではなく、受注業者の過去の実績、経験による工期の短縮、人件費の積み直しなどが考えられる。</li> <li>・ 本業務以外で使用することも想定されるので、購入費として積算に計上することはできない。</li> </ul>
<p><b>簡易公募型プロポーザル方式</b>  <b>④ CLASを活用した測量マニュアル素案の作成に向けた精度検証業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本案件に関しては、対応可能な業者が、10者ぐらいあるということか。</li> <li>・ 他のプロポーザル方式による調査研究も参加表明が1者となっている。提案は複数者あったのか。参加しなかった原因は把握しているか。</li> <li>・ 参加表明が1者では競争性がないと見られるので、複数者参加できるよう今後検討されたい。（意見）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本案件の対応可能な業者については、類似業務において、公共測量でも行う一般的な業務を含めており、広範な入札参加者が見込めるため、対応可能業者は10者以上あると考えている。</li> <li>・ それぞれ、参加表明は1者のみである。  調査研究は定型的な業務ではなく、仕様書を確認して対応できるかどうか各者検討しなければならない。発注時期や手持ち業務量、技術者の関係から参加見合わせがあったのではないかと考えられる。</li> <li>・ 競争性確保のためにも検討する。</li> </ul>
<p><b>&lt;物 品・役 務&gt;</b>  <b>一般競争入札方式</b></p>	

<p>⑤ 電子基準点網等の耐災害性強化(データ収集対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参考見積りは何者から取ったのか。</li> <li>他者参入の余地については、数者程度あるということだが、同様の案件を同じ業者が受注し、1者入札になっており現状と乖離があるのではないか。</li> <li>競争性に関して1者応札の現状と複数者参加するとした想定が違っているように感じている。これ以上何か工夫する余地はないのか。(意見)</li> <li>入札参加の辞退者に対して、ヒアリングを実施しているとのことだが、仕様が十分理解出来ないとの意見はなかったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1者から徴収している。</li> <li>電子基準点の場合、特定の1者しか受注出来ない状況ではないと認識している。</li> <li>検討していく。</li> <li>そのような意見はない。</li> </ul>
<p>一般競争入札方式</p> <p>⑥ 令和2年度地点別浸水シミュレーション検索システムの機器調達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に問題なしとして審議された。</li> </ul>	
<p>企画競争方式</p> <p>⑦ 統合災害情報システムのメインサーバのリース・システム運用保守業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に問題なしとして審議された。</li> </ul>	
<p>随意契約方式</p> <p>⑧ GNSSアンテナの位相特性に起因する測位精度低下を回避する技術の試行業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この案件は2者応募だということだが、この課題全体として9件採択されているが、これは、全体として何者の応募があったのか。</li> <li>全体としては、応募が少ないと思われる。応募者を増やす工夫をされたい。(意見)</li> <li>委託予定額の上限に近い金額で契約されている。査定はきちんと行われたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で10テーマあり、10者の応募があった。複数のテーマに手を挙げた者もあれば、1者も応募がなかったテーマもある。</li> <li>応募があった技術提案について、学識経験者からなるワーキンググループを設けて、厳正な審査を行って選定している。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務名が同じものがあるが、複数応募があった場合は評価の高いもののみ選定するのではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じテーマに類似する提案があった場合には、そのうち評価の高い者を選定している。同じテーマに技術の手法やアプローチが異なる提案があった場合には、別の内容と判断し選定している。</li> </ul>
<p><b>3. その他の審議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一者応札契約の状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一者応札の比率だけ見ていると、ここ近年増えているようだが、どのように考えているのか。</li> </ul> </li> <li>○ 一者応札が続いている契約案件の適正な契約方式（参加者の有無を確認する公募手続）への移行について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石岡測地観測局VLBIアンテナ装置の定期点検及び年間保守について、異議なしとして承認された。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 24 年度、平成 25 年度においても 45%前後の実績もあり、40%台はありうると考えている。</li> </ul>